

ひとつひとつの経済政策研究会 おすすめ文献

※各回の内容と関連のあるもの、理解を深めてくれる本を紹介します。各回上から順におすすめです。
政治的立場が「かなり」違う論者の本も、経済学的に参考になるものは紹介しています。

全体を通じて

ひとつひとつの経済政策研究会ホームページ(economicpolicy.jp)
井堀利宏&カツヤマケイコ(2016)『大学4年間の経済学がマンガで学べる』KADOKAWA
中谷巖(2007)『マクロ経済学入門<第2版>』日本経済新聞社
原田泰・片岡剛士・吉松崇(2017)『アベノミクスは進化する 金融岩石理論を問う』中央経済社

第1回 日本政府がとるべき不況対策とは:ギリシャとアイスランドからの教訓

スタックラー&バス(2014)『経済政策で人は死ぬか』草思社
松尾匡(2011)『不況は人災です！みんなで元気になる経済学・入門』筑摩書房
井上智洋(2016)『ヘリコプターマネー』日本経済新聞社
江田憲司(2012)『財務省のマインドコントロール』幻冬舎

第2回 通貨の歴史と貿易

菅原晃(2013)『高校生から分かる マクロ・ミクロ経済学』河出書房新社
鈴木隆(2012)『高橋是清と井上準之助 インフレか、デフレか』文春新書
スティグリッツ(2016)『ユーロから始まる世界経済の大崩壊』徳間書店
高木信二(2011)『入門国際金融(第4版)』日本評論社

第3回 民主主義を救う経済政策とは何か

松尾匡(2016)『この経済政策が民主主義を救う』明石書店
松尾匡(2009)『対話でわかる痛快明快経済思想史』日経 BP 社
ブレイディみかこ(2016)『ヨーロッパ・コーリング 地べたからのポリティカルレポート』岩波書店
ヤーギン&スタニスロー(2001)『市場対国家(上・下)』日経ビジネス人文庫

第4回

高崎順子(2016)『フランスはどう少子化を克服したか』新潮新書
原田泰(2015)『ベーシックインカム 国家は貧困問題を解決できるか』中公新書
山森亮(2009)『ベーシックインカム入門』光文社新書
高橋洋一(2017)『「年金問題」は嘘ばかり』PHP 新書
井上智洋(2016)『人工知能と経済の未来 2030年雇用大崩壊』文春新書
朴勝俊(2009)『環境税制改革の「二重の配当」』晃洋書房